

Who's who

～見どころ聞きどころ～

第32回日本顎咬合学会学術大会・総会

“今まさに、
新・顎咬合学の扉が開く!”



発行日：2014年4月4日

発行元：特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201

TEL: 03-6683-2069 FAX: 03-6691-0261



Pascal Magne

Dr. Magne graduated from the University of Geneva School of Dental Medicine, Switzerland, in 1989 with a Med. Dent. He obtained his Doctorate in 1992 and his Ph.D. degree in 2002. He received postgraduate training in fixed prosthodontics and occlusion, operative dentistry and endodontics at the University of Geneva School of Dental Medicine, and was a lecturer at the same university beginning in 1989 until 1997. From 1997-1999, he was a Visiting Associate Professor at the Minnesota Dental Research Center for Biomaterials and Biomechanics, University of Minnesota, School of Dentistry. After concluding two years of research, Dr. Magne returned to University of Geneva School of Dental Medicine and assumed the position of Senior Lecturer in the Division of Fixed Prosthodontics and Occlusion until his departure for USC in February 2004.

- 1989年 ジュネーブ大学歯学部卒業
- 1989～1997年 ジュネーブ大学講師
- 1992年 歯学博士取得
- 1997～1999年 ミネソタ大学デンタルリサーチセンター 客員准教授
- 2002年 博士号取得
- 2004年 南カリフォルニア大学歯学部准教授

No-post no-crown restorative dentistry in the anterior dentition.

6月14日(土) 9:30-12:00 ホールC

Magne 語録 "Aesthetic is a cherry on the cake." "審美性とは、ケーキの上に置いたチェリーである。" チェリーをより美しく見せるためには、その下地となるケーキそのものの審美性が重要である。チェリーに気を取られてはいけない！ マニエ先生の教えです！ さすが審美歯科治療の第一人者らしい深みのあるお言葉です。今日の歯科治療において、最も重要視される Aesthetic と Minimally invasive treatment. その両面を満たし、機能、耐久性をも十分に備えた治療には、No-post No-crown が大きな意味を持っているのです。スイスの山岳地帯をマウンテンバイクでぶっ飛ばしていたやんちゃな少年も、今や歯科界の誰もが認める審美歯科修復科学者、大人になっても消えないちょい悪感不思議と親近感を抱かせる理由かも？ そんな Magne 先生に審美歯科の真髄をうかがいましょう！

Scientific advances in semi-(in)direct CAD/CAM restorative dentistry.

6月14日(土) 13:30-16:30 ホールB5 皇居側

"ボンディッド ポーセレン レストレーションズ" 以来、審美歯科治療の第一人者として知られる Magne 先生ですが、その背景には、補綴学・咬合学および保存修復・歯内療法学、更に、生体材料・生体力学の研究が礎となり、審美歯科医学・接着歯科医学臨床に活かされています。いわば、審美歯科の科学者です。コンピューターがデザインし、ミリングマシンが削り出す CAD/CAM ですが、そのエビデンスの習得は不可欠です。CAD/CAM を応用したメタルフリーの接着修復が、今後急速に歯科臨床にその存在感を増していくこの時点で、今知っておくべき事、今後やるべき事を、エビデンスを知り尽くしたこの分野のスーパースター Pascal Magne 先生に伝授していただきます。

★ ホールC 総義歯 総義歯補綴臨床における印象採得の位置づけ

咀嚼と嚥下を考慮した印象採得

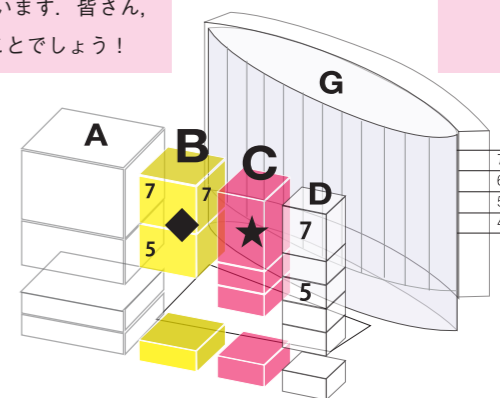
脇本 貢
噛める総義歯を作成するためには咀嚼や嚥下といった機能時の口腔周囲筋の状態を理解し、印象採得に再現することがポイントと力説する脇本先生。患者さんに喜ばれる総義歯のための印象採得のコツを学べば、明日からの義歯作りがきっと変わります。

下顎総義歯の吸着を目的とした閉口機能印象法

佐藤 勝史
今や吸着義歯と言えばこの人！ これまで数々の下顎義歯における吸着を実践されていらっしゃいます。先生の手にかかれば、ウソのように義歯が吸い付きます。今回は吸着義歯における重要ポイントをわかりやすく説明してくれると思います。皆さん、きっと義歯が好きになることでしょう！

印象採得の2つの方法

上演 正
総義歯臨床のスペシャリストである上演先生。総義歯における情熱は、咀嚼・嚥下から健康長寿まで増加中。講演中テンションがあがると、息継ぎしないで話してしまうという説もあります。見方を変えて何秒無呼吸でいられるか数えてみるのも良いかも？



総義歯臨床における上下顎同時印象

稲葉 繁
稲葉繁先生。特に説明の必要はありません。義歯と言えば稲葉先生。日本歯科界の重鎮から総義歯印象の神髄について講演していただきます。要チェックです。

◆ ホールB7 左側 新・顎咬合学 下顎位を再考する ～全身的な要件を踏まえて～

当院の下顎位決定要素とその対応

下川 公一
歯科臨床において、100%の成功をロマンとして目指している下川先生！ 理論は勿論、経験がものを言う下顎位の決定法！ 臨床歴40年が築き上げた対応法！ これを学ぶだけでも今回の学術大会に参加する価値は大きい！

～全身の中での最適な下顎位～

筒井 照子
"下顎は全身のバランス！" これは、病的な下顎位を改善することで、全身の健康を取り戻した数多くの患者を診てきた筒井先生の経験から生まれた言葉です。咬合を科学的に捉え、臨床に反映した治療実績をお持ちですが、それだけではない先生のお人柄、語り口、これらも大きな要素になっているのでは！ 実感してみてください！

下顎位と全身との関わりを科学する

小出 馨
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座主任教授の小出先生は、顎口腔系のスペシャリストです。咬合を全身的な要件と絡めて講演いただきます。是非この講演を聴いて、今までの自分の治療を振り返り、明日の臨床に生かして下さい。

◆ ホールB5 ガラス棟側 DH シンポジウム 歯科衛生士が知っておきたい咬合のこと 乳歯列・混合歯列・永久歯列咬合の(咬み合わせの)変化を知ろう

永久歯の萌出と不正咬合

山地 良子
当学会元理事長山地先生。臨床においては、小児歯科専門医として咬合と全身との調和に取り組んでおられます。咬合が形成されていく段階から不正咬合に対する対策をとる重要性を、お孫さんをお持ちになってから更に力を入れているように感じられます。

健全な歯列および咬合を育むために——キープポイントを探る——

後藤 邦之
最近よく耳にする「子育ては歯育てから！」、そして後藤先生の演題「健全な歯列および咬合を育む」は、全身の健康の確立、もっと突き詰めれば健全な心の発育・形成にも大きく関与します。歯科衛生士としての立場以外でも、現在あるいは未来の母として役に立つ情報です。

成長期に身につけたい：「正しく噛む」とは？

阿部 伸一
解剖学が専門の阿部先生には、その専門である解剖学的な視点から、経年的な咬合の変化について講演いただきます。歯科衛生士の皆様にとってはなじみのない苦手な分野かもしれませんが、視点を変えてみることで、分かる世界もあると思います。その道のプロの視線を盗んでみませんか？

● ホール D7 公開フォーラム 医師からみたペリオシンドローム

原因不明の病気が口腔内をうたがえ

今井 一彰

内科医である今井先生は「病気をしやすい人たちは口呼吸をしている」と言い、様々な疾患の治療にあたって、呼吸法と舌の位置を改善することで効果をあげています。口に最も関係の深い私たち歯科医師に新たなテーマを問いかける興味深い講演です。口を閉じて聴きましょう!! ついでにいっしょに「あいうべ体操」も教わりましょう!!

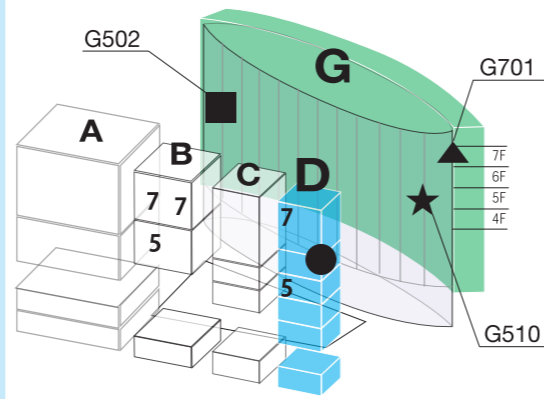
口と健康

「高齢者の健康・長寿を支える歯科の役割」

河原 英雄

健康で長生きばしようおもたら、「しっかり噛む! 口の中を清潔にする!」これに尽きるったい! 薬ん頼るとはその後たい! 詳細は会場で!

共同演者: 鈴木 宏樹



● ホール D5 修復 修復における診査・診断のポイント

ダイレクトボンディングのボーダーライン

青島 徹児

今回は、修復のエキスパートの青島先生に修復における診査、診断のポイントについてお話いただきます。修復法は、現在では多種多様にあり、どこに何をを使うのか? 壊れないためには何に注意したらいいのかなど分からないことだらけ。そんな時こそエキスパートの話聞いて明日の臨床に生かしましょう。

オールセラミック修復のためのプレパレーションガイドライン

篠原 俊介

西麻布でご開業の篠原先生は本来はインプラントの専門医。しかし今回のセッションでは最新の修復におけるキーポイントを解説いただけます。修復物の長期にわたる安定には何が必要かを、自身の経験から講演いただけるのではないのでしょうか!

修復治療におけるマテリアル選択

岡口 守雄

修復物を長期に安定させるためには、診断をもとにして、使用する材料、手技、咬合など様々な要素を組み合わせることで完成させていきます。岡口先生はその道のスペシャリストです。そして顕微鏡を駆使して高精度な修復を見せてくれるでしょう。乞うご期待。

▲ ガラス棟 G701 若手選抜発表 若手歯科医師の登竜門 支部選抜発表

私の考える患者主体の咬合治療

谷口 昭博

「患者様一人ひとりの希望に耳を傾け一緒に考えオーダーメイドの治療を心がけています」と話される谷口先生。日本国内のみならず海外学会での発表も精力的にこなされるなど活躍の場も広く、若手というよりも北海道では既にリーダー的存在です。親しみやすい笑顔と穏やかな語り口での講演には情熱と人間愛があふれています。「患者主体」という言葉の真意に気づかされる機会となるでしょう。

生理的治療顎位を模索した一症例

清水 俊克

いつも進化を見せてくれる清水先生は、1本のう蝕にもその原因を探り、総合的なアプローチを心がけ、特に咬合の問題を抱えた患者さんに対しては、下顎位やセファロ分析を含めた包括的な診査・診断を行っています。現在から未来を予測して様々な治療計画を提示し、それぞれの利点留意点を説明しながら、患者さんと共に着実に歩んで行く姿勢は、彼自身の誠実性を表しており、後輩だけではなく先輩歯科医師からも一目置かれています。そんな臨床をぜひ皆様に見ていただきたいと思ひます。

臼歯部咬合崩壊を伴った慢性歯周炎患者に包括的な治療を行った一症例

吉田 拓志

この若さで多数のフルマウスの経過症例をもつ吉田先生。全国のスタディーグループをまわる勉強家で知人も多い。そんな吉田先生が、今回は関東甲信越支部の若手代表として講演します。

▲ ガラス棟 G701 若手選抜発表 若手歯科医師の登竜門 支部選抜発表

咬合崩壊を治療した一症例
——咬合 接触状態から考察する——

前田 武将

岡山で開業しておられる前田先生は臨床のレベルが素晴らしいのももちろんのこと、趣味のスキーのレベルも超プロ級です。昨年も台湾で発表をされておりワールドワイドの活躍をされています。今回も関西、近畿、四国、中国地方の若手歯科医師の代表として「咬合接触部位分析装置」を使った診査、診断をされ理論に基づく咬合再構成症例を皆様乞うご期待下さい!!

歯列対向関係のバランスを考慮した一症例

藤井 元宏

彼を一言でいうと炎の男という感じですが、昨年までは名古屋 SJCD 副会長、そして現在私たち日顎の若手育成スタディ NOAH の会長を務め、かつ BPS のインストラクターをこなすという精力的な人物です。後輩メンバーにも慕われて面倒見の良い兄貴分といったところです。NOAH のメンバーは咬合を軸とした臨床を心掛けているため今回の発表もどうぞ御期待下さい。

中等度慢性歯周炎の患者に対し、可及的に歯を保存し固定性ブリッジにて対応した一症例

樋口 惣

北九州歯学研究会を拠点に日々研鑽され、博多駅前の一等地のビル内に医院を構えて診療をされています。日頃はとてもユーモアあふれる先生ですが、歯科治療に対する真摯な姿勢には感服です。常に歯の保存を心がけて基本治療を重視し、現在ではマイクロも導入されてその精度を上げるために日々探究されています。是非注目してください。

■ ガラス棟 G502 マイクロ 究極の低侵襲治療を目指して

審美修復治療におけるマイクロスコープの有用性

天川 由美子

現在の歯科医療に求められている MI のコンセプトに基づき顕微鏡を使用し、金属フリーの審美修復を得意とする天川先生。丁寧でクオリティーの高い審美修復治療は、まさに患者さんの求めているもの。才色兼備を地でいく天川先生に乞うご期待!

患者さんに喜ばれる、ソフトで確実なハイジニストワーク

大野 真美

顕微鏡を使用しハイジニストワークを行う大野歯科衛生士。見えることで歯肉を傷つけない確実なテクニックを身に付け、モニターの動画を患者さんに見せながら説明する臨床スタイルでさらなる高みを目指します。レベルアップし、より良い治療をしたい歯科衛生士さん集まれ~

精密歯科治療の意義

松川 敏久

歯の健康・美しさにとことんこだわり、繊細で高度な歯科治療を追求し続ける松川先生の顕微鏡を用いた治療は必見です。あらためてプロフェッショナルとは何かを考えさせられます。

★ ガラス棟 G510 顎関節 顎関節と咬合の相関関係

バイオメカニカルフォースと顎関節の関係

今井 俊広

なんだかわかったような? わからないような? この「もやもや」、顎関節に関わるセミナーの後に感じた方も多はず! 先生の著書「さわらぬ咬合、さわらぬ咬合」ですでに「目からウロコ」を実感した方もいるのでは? 顎関節についてスッキリしましょう!

異なる咬合調整法や咬合採得法が顎関節に及ぼす影響

鱈見 進一

顎関節症状の診断にマウスピースの有効活用を用いられている他、睡眠時無呼吸症候群の治療用マウスピースに関する論文を多数発表されている鱈見先生、顎関節の問題を違った角度から知る絶好の機会です!

全身単位の咬合は安定した下顎位の獲得から

平井 順

JH エンドシステムが多くの歯を救って来ました! そして、JH リポジショナー型スプリントが噛み合わせに悩む多くの患者の救世主となって来ました。円熟味を増す臨床とともに、トレードマークの口ひげは漆黒の輝きからロマンズグレーへと魅力を深めました。

セミナー室1 開業学 6月14日 13:30-16:30
歯科医院を守るためのあれこれ 救急蘇生・医院教育・医療訴訟

歯科治療時のリスクマネジメントとクライシスマネジメント

一戸 達也

“ホッとて終わり”が一番危険！ ほぼ100%の方が経験していると思われるヒヤリ・ハット！ 重大事故の陰に29倍の軽度事故と、300倍のニアミスが存在するといわれています。起きなかったからホッととするのではなく、事例の記録を医療事故の防止・安全に役立てる事が重要！ むやみに恐れず、危機感を持つ方法を一戸先生に伺いましょう！

理不尽な“医療Gメン”から歯科医院を守る！闘う歯科医院とは！！

横山敏秀

保険診療制度は保険料や税金によって運用される公的制度ですから、それが適正に行われているかをチェックする制度は必要です。が、その制度そのものが“適正”かどうかはまた別の話です。守り方！ 闘い方！ 横山弁護士教えてください！

歯科道
～楽しくプロフェッショナルに～

石原 研

老子によれば、道とは名付けることのできないものであり、礼や義などを超越した真理とされる。天地一切を包含する宇宙自然、万物の終始に関わる道を、天道といい、人間世界に関わる道を人道という。しからば、“歯科道”とは？ 老子にも説けぬこの道を、近頃仙人の風貌を擁してきた石原先生が説きます。

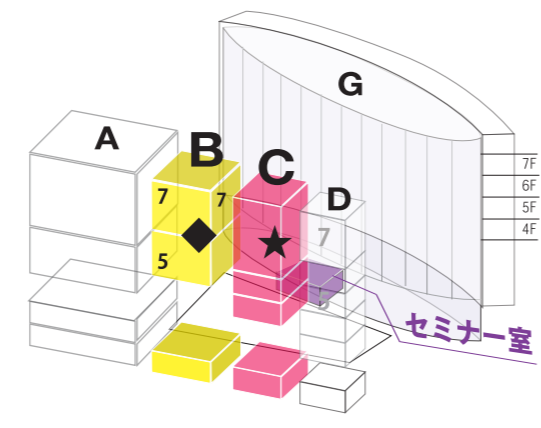
セミナー室2
有料ハンズオン①
ベリオ

※事前参加登録制

トンネルテクニックと上皮下結合組織移植術を用いた歯肉増生

申 基祐

日本の歯周病治療の権威として大変著名であり、絶対的な知識と天才的な外科手技を併せ持つ申先生のコースは常に満員御礼です。今回はトンネルテクニックと上皮下結合組織移植術を用いた歯肉増生について、直接手技を学べる貴重な機会です。早めのお申し込みをおすすめします。



指定講演 6月15日(日) 9:15-12:00

★ ホールC 認定研修I 生涯にわたる歯周病を基礎と臨床から考える

歯周治療の勘所
—炎症と力のコントロールの理解と実践—

伊藤 公一

イトウコウイチ！ と聞いて歯周病治療の神様、伊藤公一先生！ と思いきや浮かばない歯科医療人はいないでしょう！ 細菌が関与する炎症のコントロール、咬合に関与する力のコントロール！ どちらも歯科医院の力量の見せどころ！ 歯科医、歯科衛生士、歯科技工士まさに三位一体の力の結集が大切な治療です。新・顎咬合学を支えるエビデンスをスタッフ全員で聴かなければなりません！

ライフステージによる口腔の加齢変化

阿部 伸一

加齢に逆らわず、上手に年をとる“ウェルエイジング”。どうしたらできるのか？ 顎骨の解剖学的変化、それによる神経、脈管の位置の変化、さらにそれらに付随する筋機能の低下による摂食・嚥下機能の低下によってどのような問題が引き起こされているのか？ これを知ることが大切です！ 阿部先生教えてください！

特別講演



小川 隆広

インプラントのエイジングと新時代のサーフェス科学

6月15日(日) 9:15-12:00 **ホールB7左側**

UCLA 歯学部終身教授、ワイントロープセンター、先端補綴学講座所属。インプラントの光機能化ならびに生物学的研究の世界的権威として近年その業績は世界で認められ、数々の名誉ある賞を受賞されています。北米に続き、ヨーロッパでもその臨床応用が待たれている光機能化の技術の全容を、世界に先駆けて臨床応用の始まっている日本で余すことなく語っていただけるものと思います。

◆ ホールB5 皇居側 メーカーシンポジウム

オールセラミック修復における臨床、材料最前線

小峰 太

オールセラミック修復というと、その材料学的な面に着目しがちですが、支台歯形成をはじめ、隣在歯、歯周組織との調和など、多要素を満足する臨床が必要です。この分野での研究・臨床その両面での第一人者、小峰先生に教えていただければ、オールセラミック修復ワンランクアップ間違いなしです！

株式会社モリタ

メタルフリーの修復の新しい潮流

高橋 英登

メタルフリーといえば高橋先生！ 口腔内から金属修復物をなくしたいと願う患者さん、それに応えたい臨床医！ メタルフリーが歯冠修復にすっかり定着した現代、臨床の考え方、経緯、製品の特徴や正しい術式などの最新情報を整理し、臨床を実践するうえで参考となる情報を持ち帰りましょう！

株式会社モリタ

◆ ホールB5 ガラス棟側 高齢者と歯科医療 摂食・嚥下機能と新・顎咬合学

高齢者における咬合と誤嚥性肺炎予防との関係

米山 武義

日本の口腔ケアの第一人者、特に誤嚥性肺炎の予防に関しては、いち早くその重要性について提唱されてきました。NHK ためしてガッテンなどでも先生のご活躍される姿をご存知の方も多いのでは。この分野における飛躍的な進展は、先生の治療に対する情熱とそのお人柄が成し得たことと言っても過言ではないでしょう！

高齢者に対する摂食・嚥下リハビリテーション

植田 耕一郎

厚生労働省が口腔ケアにも目を向けるようになった研究を推進された研究者の一人、植田耕一郎先生です。“命のワンスプーン” 口から食べることは栄養摂取以外に多くの効果を秘めていることを訴えています。まさに、一口腔単位から一全身単位、新・顎咬合学の真髄です！

中途障害者の口腔機能改善によるアイデンティティの回復

塩田 勉

人生半ばにして、ある日突然、病気や事故により障害を負われた方を「中途障害者」と言います。それまでは、障害という言葉とは無縁だった方が、ある日突然環境が変わってしまうことがあり得るのです。そのような方が、口腔機能改善をきっかけに生きがいと希望を持って暮らしていけるとしたら、大きな意義があります。歯科医療の重要性を実感します。

D
ホールD7

D
ホールD5

G
ガラス棟G701

G
ガラス棟G502

● ホール D7 PD 欠損補綴における永続性のための診断

欠損歯列の新しい考え方
——パラダイムシフトを求めて——

牧 宏佳

牧先生には欠損補綴における永続性のための診断について講演していただきます。欠損補綴の永続性？これを診断するには、支台歯や、歯周、様々な要件が絡み合い日常臨床ではその診断に苦慮することが多いと思われまふ。このセッション、非常に興味があります。

欠損歯列をどう捉えるか
客観的評価と現状評価

川上 清志

欠損補綴に永続性なんてあるの？長持ちするならいいけど、どうなの？こんな疑問は患者さんだけでなく術者にも少なからずあるはず。そんな疑問を持つあなた。是非このレクチャーをお聴き下さい。何らかの答えが出るはずですよ。

より適切な欠損補綴とは
～ともに喜び ともに幸せになる 補綴治療をめざして～

俵木 勉

狭山市で開業されている俵木先生は一言でいうと『いい人』。狭山市歯科医師会の会長を務めたほどの人格者です。そして、UCLA 歯周病インプラント研究会や海外の学会に出席するなど、学術的にも優等生。一度その人柄に触れてみて下さい。

● ホール D5 審美修復 最先端を行く審美修復

MI 審美修復治療

大河 雅之

審美歯科の第一人者、大河先生。皆さん何処かで名前を聞いたことがあるでしょう。今回も審美歯科の最先端を聴くことができます。今年も様々な分野のセッションがあり、いつもどおれを聴いてよいか分からない方は、まずこのセッションを聴きましょう！

日常臨床における審美的
アプローチ

高橋 健

患者様が満足度する審美治療を成功させるためには、テクニシャンとの高度な連携なくしてあり得ません。そして間接的な審美修復は、テクニシャンの技術や感性がその多くを占めます。是非高橋先生の講演を聞いて歯科医師-歯科技工士の連携を深めて患者満足度を高めましょう。

審美歯科技工の原理原則

遊亀 裕一

歯科医療を高度な次元で成功させるためには、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士それぞれが共通の認識を持って一人の患者と対峙する必要がある。歯科医師や歯科衛生士の知識を深く理解している先生の講演を聞くことで明日からの臨床のヒントになれば幸いです。技工士さん、お知り合いの歯科医師または衛生士と一緒に是非聞いてみて下さい。

▲ ガラス棟 G701
コミュニケーション

正しいことを正しく伝えても
ひとは理解しない

土屋 和子

土屋先生についてはもう多くを語ることはないかも。重要性はわかっていてもなかなか難しいのがコミュニケーション。なにやらコミュニケーションには落とし穴があるんだそう... さてさて今回は穴の中からはなにが出てくるのかお楽しみに！

■ ガラス棟 G502 口腔内科 咀嚼機能と健康回復の科学的解析

咀嚼機能回復が体組成・代謝の改善
におよぼす影響

武内 博朗

クロールヘキシジンを用いた3DS法によるミュータンス連鎖球菌除菌による予防システムを確立されたことで知られる武内先生です。咀嚼機能の改善により生体の持つ内部環境調節機能を回復させる、これは歯科にしかできない医療です！一部の人はなく皆が知っておかなければならない情報です！

虚弱高齢者と口腔保健の関係

花田 信弘

国立感染症研究所、国立保健医療科学院などで、ご活躍された花田先生。先生の各種研究成果が、歯科保健医療の位置づけを確立してきました。特に、誤嚥性肺炎に代表される高齢者に対する口腔ケアによる予防効果の成果など実践的な対応は、医療現場で活かされています。今後我々はこの分野に関わっていかねばならないか？花田先生に伺いましょう！

★ ガラス棟 G510 部位別治療への対応 中切歯の治療

中切歯における根管治療の重要ポイント

小原 俊彦

『歯内療法が好きなんです』と語るその瞳に迷いは無い。吟味されたスライドと洗練されたプレゼンテーションを行う小原先生。今回は中切歯の治療についてレクチャーしていただきます。ミクロな視点で見る中切歯の治療は果たしてどうでしょうか？

個々の支台歯に即した前歯部支台歯形成の提案

大谷 一紀

私(Mr. X)、これを執筆して大谷先生の名前をみてあれ？と思いました。調べてみるとアメフト部で、しかも同世代で学生時代にアメフトで戦ったことがある方でした。先生は体が大きくその世界では有名な選手でした。個人的な話でしたが、今回は歯科医師として中切歯の治療について講演いただきます。アメフト出身の先生は是非応援にってください。

上顎中切歯の治療
——理想的なインプラント治療を目指して——

藤田 憲一

一口腔単位から全身との調和を考慮して治療に当たる先生ですが、今回は中切歯1本の治療に焦点をあてて講演いただきます。「中切歯の治療？」と思われがちですが、機能から審美まで実は奥が深い部位です。乞うご期待下さい。

セミナー室1 矯正 インターディシプリナリー

GPのGPによるGPのための矯正PartII

徳永 哲彦

日本の一般開業医は、ある意味で、常にインターディシプリナリーな治療をしなくてはならない環境にあります。しかし徳永先生はそれを一人で行うマルチディシプリナリーアプローチの第一人者です。そのため先生の臨床には沢山のカードがあります。その手札の多さに驚愕するでしょう。

Implementation of the Interdisciplinary Dental Therapy with an Orthodontic Approach

胡 兆仁

台湾から来られる胡兆仁先生は、実は九州大学に留学しておられました。インターディシプリナリーを実践している先生です。きれいな症例写真と、プレゼンテーションは、見るだけでも勉強になります。マルチディシプリナリーな先生方にとっても参考になると思います。

MIに繋がるインターディシプリナリー

松崎 浩成

水戸でご開業の松崎先生。エンドからインプラント、矯正までこなしてしまうマルチディシプリナリーデントリストです。黄門様の紋所が入ってしまいそうな大きな目で、患者のバックボーンまで見抜いてしまう診断力に裏打ちされた治療は、緻密で隙がありません。診断と治療が一体化したその姿勢は、明日からの臨床への大きなヒントになるでしょう。

セミナー室2 認定医教育セミナー

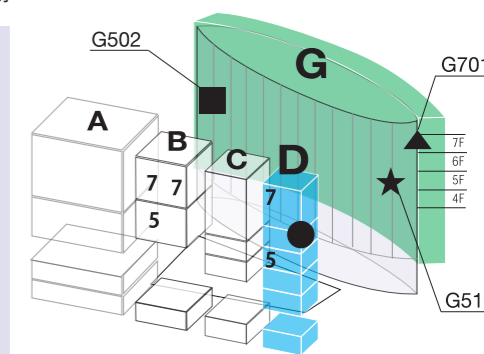
咬合

※事前参加登録制

咬合の出発点：中心位

小嶋 壽

日本のナソロジーの父である村岡博先生とともに本学会を長年にわたって支えてきた重鎮の一人である小嶋先生が、顎咬合学の極意ともいえる「中心位」について、分かりやすく、そして丁寧に、あなたの心に熱く語りかけます。「中心位」を正しく知る事は、今後の臨床を大きく左右する、と言っても過言ではないでしょう。



G
ガラス棟G502

G
ガラス棟G510

セミナー室1

セミナー室2

◆ ホール B7 左側

KaVo システムによる顎関節症の診断と治療

稲葉 繁
IPSG 包括歯科医療研究会最高顧問であり、常に最善の歯科治療を研究・提供し続けている稲葉繁先生です。特に顎関節症に関しては、ドイツで本格的に診断・治療を学ばれ、顎関節症の80~90%は咬合に原因があることを突き止め、その原因の調べ方や、治療方法を確立されました。今回は、KaVo システムを応用したより適確な診断・治療をご教授いただけます。

カボデンタルシステムズジャパン株式会社

● ホール D5

ストローマン CARES デジタルソリューションを用いたインプラント治療

—ストローマン CAD/CAM システムを中心に—

加来 敏男

加来先生の地元大分県中津市は、歯科医師免許第一号取得者小幡英之助先生を輩出した地。また、加来先生自身も100年の歴史を持つ歯科医院の3代目院長という、いわば歯科界のサラブレッドです！ 歯科医療の進歩、小幡先生も驚かれていますのではないのでしょうか？

ストローマン・ジャパン株式会社

セミナー室 1

患者中心のインプラント補綴その成果、効果

中山 隆司

先日台湾顎咬合学会で、インプラント治療に関する素晴らしい発表をされ、評価をえた中山先生です。最良の治療結果とともに、患者さんの負担を軽減することも常に治療計画の中で考慮されている臨床家です。期待の若手歯科医師です。

コアフロント株式会社

▲ ガラス棟 G701

企画中

デンツプライ三金株式会社

◆ ホール B5 ガラス棟側

義歯と義歯ケアにおける歯科医師と患者のギャップ

水口 俊介

“NHK 今日の健康” 90歳までしっかり噛もう！ 歯イキイキ健康術「あなたに合う入れ歯」のなかで、義歯をケアすることの大切さについて述べられておりました。東京医科歯科大学教授水口先生です。日本義歯ケア学会会長を歴任された経験もをお持ちの水口先生に、解説いただけます。

グラクソ・スミスクリライン株式会社

■ ガラス棟 G502

抜歯即時埋入におけるインプラントの選択基準

—チタンか？ HA か？—

林 揚春

改めてご紹介する必要もないと思いますが、抜歯即時埋入インプラントの第一人者である、林揚春先生です。抜歯即時埋入においてはHAインプラントが有利であることを理解している方も多いと思いますが、部位や症例によってはチタンが有利な点もあるのか？ その選択基準、林先生に聞くのが一番確実です。

株式会社白鷗

● ホール D7

コンピュータガイドインプラント治療の臨床と今後の展開

木津 康博

MI コンセプトが歯科治療の基準として定着する現代、インプラント治療においても例外ではなく、コンピュータガイドを用いることにより従来のインプラント治療に比べ、飛躍的な進歩を遂げています。この分野の世界的先駆者、木津先生に詳細を解説いただけます。

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

★ ガラス棟 G510

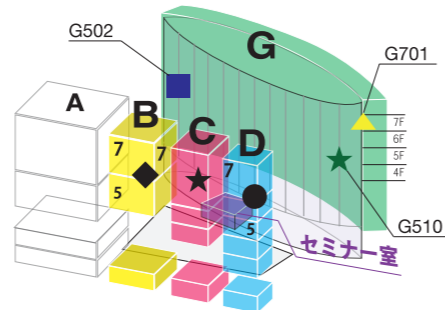
BPS エステティックデンチャー

～患者を中心としたチーム医療～

相澤 正之

BPS は、生体機能的補綴システムです。BPS はヨーロッパの伝統あるメーカーが開発した最新技術であり、BPS メンバーとして認められるのは、試験をクリアした歯科医師や認定歯科技工士のみです。その歯科医師メンバー相澤先生と、認定歯科技工士岩城先生に機能と審美を兼ね備えた義歯について解説いただけます。

共同演者：岩城 謙二 Ivoclar Vivadent 株式会社



指 定 講 演 6月15日(日) 13:15-16:30

★ ホール C LIVE サイナスリフト

水圧拳上によるサイナスリフト：歯槽頂アプローチでラテラルアプローチと同程度の拳上を行う方法

嶋田 淳

本来インプラントは、確固たるエビデンスに基づいた歯科医学が誇る安全で高性能な口腔機能回復手段です。しかし、サイエンスとスキルの準備不足による一部のトラブ

ルが誤解を招いています。インプラントを国民から信頼される医療として定着させてきた第一人者といえば嶋田先生です。今回は、サイナスリフトをためらう要因の一つ、洞底粘膜穿孔の危険性！ これを飛躍的に低減させるシステム、“水圧拳上によるサイナスリフト”の臨床を行っていただきます。サイエンスとスキルをしっかり学び、みなさんも嶋田淳先生になりましょう！

◆ ホール B7 左側 ペリオ (非外科的治療) 歯周基本治療後の再評価と処置方針

歯周基本治療の可能性と限界

谷口 威夫

歯周治療はチーム医療であるとの考えから熱心に歯科衛生士教育をされている谷口先生。誰もが歯周基本治療でどこまで回復できて、どこまでが限界なのか予測することが難しく、悩んでいると思います。先生の貴重な治療経験から導き出された「可能性と限界」をご教授いただけます。明日からの臨床が必ず変わるはず。どうぞお見逃しなく！！

歯周治療のゴールを考える

関野 愉

日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授の関野先生。理論整然としておりエビデンスを重んじる先生。歯周基本治療後の再評価と処置方針について講演いただきます。我々歯科医が常日頃行っていることのように、そこに正しいエビデンスがあるのか見直す良い機会だと思います。

歯周病患者の治療結果から処置方針を振り返る

辰巳 順一

明海大学歯周病講座の辰巳先生は、いつでも誰にでもやさしく紳士的な(?)先生です。前段の谷口先生、関野先生に続いて講演いただきます。このセッションを聴けば、明日から再評価後の、次の方針に自信が持てるようになるでしょう。特に若手の皆さん、派手なことに興味があるのもわかりますが、もう一度ベーシックなことに目を向けてみませんか？

◆ ホール B5 皇居側 メーカーシンポジウム 審美修復の未来形 ～予防的機能を兼ね備えた審美修復の実現～

ダイレクトボンディングによる審美修復の実際

宮崎 真至

Minimal Intervention の概念が歯科臨床に導入されていざいぶんと月日が経ちました！ 今では、ダイレクトボンディング審美修復は毎日の歯科治療に欠くことのできない存在となっています。これについては、この分野の第一人者、秋田の名門造り酒屋の御曹司にして今や日本大学教授となった宮崎真至先生に伺うのが一番です。聴衆をひきつける80年代ロックのBGM付きプレゼン、今回のBGMはなんだろう？ ポストン？ ジャーニー？ TOTO？ 楽しみです！

バイオアクティブ機能を発現する S-PRG フィラー含有材料

—予防的効果を備えた修復治療におけるその有用性—

今里 聡

「S-PRG フィラーとは？」6種類のイオンを徐放、フッ化物イオンをリチャージするフィラーの呼称です。MIを理念としたエビデンスとコンセンサスに基づくう蝕治療が定着した今日、歯質に対する介入を最小限にとどめるため、このような材料は必須です。詳細は、大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座(歯科理工学教室)教授、今里先生に解説いただきます。

ビューティコートを用いたラミネートベニア修復テクニック

貞光 謙一郎

貞光先生の「ライバルはMagneです！」奇しくも今回の特別講演はそのMagne先生です。プログラム委員長として、もしかして共同講演を画策していたのかも！ Magne先生の手法に疑問を持たば、本人に会って疑問点を確かめる等、学ぶ姿勢はMagne先生をも唸らせます。日本には、Sadamitsu先生がいます。

◆ ホール B5 ガラス棟側 ペリオ・インプラント

歯周病とインプラント ～それぞれの立場から～

メンテナンスの立場から見た歯周病とインプラント周囲炎

下田 裕子

福岡県で開業されているペリオ、インプラントで有名な水上先生のもとで勤務されている歯科衛生士の下田先生。幅広く講演されている先生です。歯周病またはインプラント周囲炎に罹患しないためには、メンテナンスは切り離せません。歯科衛生士の立場から、どのように歯周病とインプラントのメンテナンスをしているのかわかるチャンスです。ぜひご聴講ください。

歯周病患者へのインプラント治療 —4つの問題点とその解決法—

林 丈一郎

このテーマの問題点と解決法、林先生に伺うのが一番です！ 豊富な研究成果と、臨床実績ををお持ちの林先生。歯周病患者へのインプラント治療は、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、いわゆる当学会が掲げる、三位一体の取り組みがなければ良好な結果が得られません！ 逆に言うと、三位一体の力の見せ所でもあります！ 臨床力アップ間違い無し！

“ビューティフルEポステリア”を用いた効率的な自費審美修復について

松本 勝利

威風堂々としたシルエットからは想像もできないほど繊細で華麗なテクニックを駆使する松本先生！ それを支えているのが確かなるダイレクトボンディングの科学です。コンポジット修復でここまでできてしまうのか！ 概念が180°変わるぐらい衝撃を受けるかもしれません。

株式会社松風

● ホール D7 エンド 歯内療法を成功に導くための根管形成法

根管形成のカギ
～根拠と経験の融合をめざして～

倉富 寛

北九州発から全日本経由で世界展開し活躍中の倉富先生です。北九州歯学研究会で研鑽を積み、厳しい先生方の指導をほどよいストレスとし、初心に戻りまた次の段階へと進化を遂げ、どのような場面にも適確に対応できる、いわば歯科界のSTAP細胞のような先生です。先生の持つ豊富な根拠と経験を取り入れれば、ストレスなしに高度に成長できます！

※この文章は、平成26年2月15日現在の世情に基づいています。よって、取り下げ依頼は行いません。

安全で効率的におこなう根管形成のポイント

岸本 英之

走るエンドドントリスト岸本先生です。その速さは並み居る皇居ランナーの中でも異次元の世界です。正確かつ緻密に刻むピッチ走法同様のリズムで根管形成は進みます。JHエンドシステムを踏み台に、将来HKエンドシステムの構築を思案中との噂も！冗談はさておき、「簡単に速く」ではなく、「安全で効率的」の重要性を学びましょう！

私の選んだニッケルチタンファイルによる根管形成

山田 邦晶

彎曲根管への対応もテーパー状形成と同時にできるという利点を持つニッケルチタンファイル。それを可能にしている「しなり」が根管内壁の髓角の張り出しの除去、根管口から歯根中央部の修正形成に適さない場合があります。山田先生はその問題を自ら開発したダイヤモンドバーで補っています。鬼に金棒です！

超音波チップによる根管形成と根管洗浄

明石 俊和

スメア層の除去に薬剤を使用する方も多いと思います。しかし、薬剤の使用は根管壁の軟化、歯周組織への傷害などが起こります。MIの時代これは避けたいところ！それに変わる有効法として超音波振動による洗浄があります。「もうやってるよ」という方もいるでしょう。しかし、明石先生の方法は何かが違う！何が違うのか、当日までのお楽しみです！

▲ ガラス棟 G701 DH Q&A

歯科衛生士 Q&A コーナー 歯科衛生士として基礎を学ぼう病理編

ミクロの視点・内側から見る歯肉の変化

橋本 貞充

橋本先生は東京歯科大学生物医学研究室 准教授としてご活躍されておられます。今回先生には病理学的な視点から見る歯肉の変化ことについて講演いただきます。患者の歯肉を上手くメンテナンスするにはどんな細かな変化にも気づく歯肉オタクになることが一番の近道です。是非今回の講演を聴くことで、病理学的な歯肉の変化をマスターできること間違いなしです！！

臨床的な気づきの目を養うために

川崎 律子

日本歯周病学会、日本口腔インプラント学会、日本臨床歯周病学会の認定歯科衛生士である川崎先生。現在はフリーランスとしてご活躍されており、数々の講演に引っ張りだこ状態。そんな先生に今回は臨床的な気づきの目を養うために必要なコツを講演いただきます。臨床の場で様々なことに気付かないと上手くメンテナンスすることができません。経験が浅い方、基礎からもう一度学びたい歯科衛生士の方必見です。

● ホール D5 DT シンポジウム インプラント技工の可能性を探る

インプラント支持を含めたデンチャーワークの機能と構造力学

奥森 健史

デンチャーワークのスペシャリストとして数多くのセミナーや執筆活動、国際学会での講演など、精力的にご活躍されている著名な奥森先生が、インプラント支持を含めたデンチャーワークの機能と構造力学について、高いレベルの考察と解説をいただく予定です。インプラント補綴に強くなるチャンスです。

インプラント技工の可能性
～設計、システム、材料の観点から～

渡邊 一史

天才的な技工センスを持つ渡邊先生の近年のご活躍は今更言うまでもないですが、先生が日頃から実践しているインプラント上部構造の製作において、設計、システム、材料の観点から、独自の鋭い考察を加え、その可能性についてマニアックに、そして分かりやすく解説していただきます。無限の可能性をあなたも感じて下さい。

患者満足を得るインプラントオーバーデンチャーの考え方

須藤 哲也

インプラントが欠損補綴の有効な治療法として我が国において認知されてから、様々なオプションとしてのインプラント補綴が実践されてきました。そのなかでも今回はインプラントオーバーデンチャーに焦点を当て、十分な患者満足を得るにはどのようにすべきか、その奥義をお話いただきます。

■ ガラス棟 G502 予防・小児 乳幼児の歯科治療

口腔からの子育て支援

田中 晃伸

我が国における小児歯科医療の確立と発展に尽力されてきた落合精一先生の愛弟子とも言える田中先生。現代の小児歯科・障害者歯科医療の第一人者です。「一口腔単位から一全身単位へ」は、子供の成長とともにあって大きな意義を生み出すのではないのでしょうか？ 田中先生の人間性と同じように、深みのある教えが聴けそうです。

乳幼児の口腔機能の評価と治療

弘中 祥司

私達が何気なくしている摂食行為。しかしこれは本能ではないのです。おっぱいを飲む、離乳食を捕食し飲み込むといった日々の生活の中で体験、学習した成果なのです。これらを学習する時期に、しなければならぬことをしていないと発達も遅れる可能性があり、高齢者の摂食障害よりも深刻かもしれません！ これらの分野で小児の摂食・嚥下の問題に取り組みされてきた弘中先生に伺います。

バイオブロック、RAMPAを用いた顎顔面口腔育成治療

末竹 和彦

顎顔面口腔育成とは、なんぞや？ 矯正治療に付随した治療？ とまず考えるのが常道！ところが、若干ニュアンスが異なります。木でいえば、大きな幹の部分を整すことを治療目的としています。そのために、Biobloc（バイオブロック）、RAMPA（ランパ）という装置を使い顎顔面と口腔のバランスを整えていくのですが、末竹先生の治療目標は、その人のQOLの向上にあります。これぞ新・顎咬合学！

★ ガラス棟 G510 International 海外発表経験者の講演を英語で聴いてみませんか。

審美領域における歯肉色を呈するチタンアパットメントの使用

墨 尚

『BACK TO THE BASIC』をモットーに、患者さんのための治療を大切にしている墨先生です。審美領域でのアパットメントの選択は非常に大切で難しいところですが、従来のチタンアパットメントの場合は薄い歯肉等でのメタル色の問題がありました。審美性の確保の面から基本的に忠実な墨先生のお話は必見です！

CAD/CAMシステムを使用した最新の審美・インプラント修復補綴

山下 恒彦

米国および日本において数多く、教育や育成に従事し、ご活躍中の山下先生です。CAD/CAMについては言うまでもなく、特にインプラント治療における技工では大変ご高名な先生でもあります。今回は山下先生が長年携わってきた分野だけに、きっと最先端のお話が聴けることでしょう！

咬合に問題を有する患者の歯周治療

林 美穂

『歯周組織の健康第一』を掲げる林美穂先生はとってもスマイルが素敵です。リスクファクターが多い歯周治療のなかで、とりわけ咬合に問題を抱えている場合等、治療が難しくなることが少なくはないですね。今回は林先生の歯周治療の秘訣を聴けるチャンスです。皆さん、聴かなきゃ損ですよ！

歯肉溝内マージンに関するMisunderstandingの歴史的考察

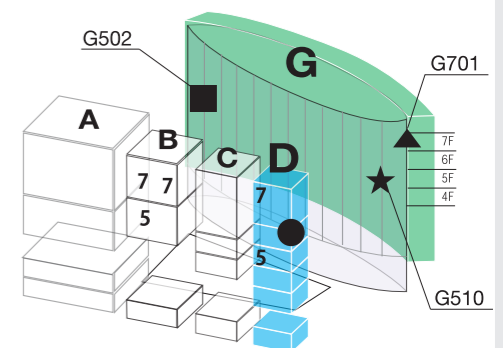
行田 克則

前歯部審美に関して『Sシェイプ』などで有名な行田先生！歯周のマジシャンと呼ばれる方もいます。その先生からマージンに関する貴重なお話が聞けるのは、本当に楽しみです。また、数々の逸話をお持ちの先生だけに予想だにしないお話が出て来ることでしょう！

審美領域における低侵襲な歯槽堤増大とメンテナンス

金城 清一郎

沖縄と言えどこの人！ミステリアスな風貌の金城先生は、非常に多くのアドバンスなインプラント治療を行って来た先生でもあります。今回は『低侵襲』ということで、いったいどんなお話が飛び出して来るか予想がつかず、とても楽しみです。皆さん、一見の価値ありです！



セミナー室1 隣接医学 6月15日(日) 13:15-16:30
原因のはっきりしない症例の対処 思わぬビットフォールに陥らないために

口腔領域の痛みと違和感 vs 歯科心身症・精神疾患
一臨床医の対応

和気 裕之

我々は、患者さんの訴えが強ければついなんとかかしたいと思ってしまうのは、医療人として当然です。しかし、原因不明な疼痛である場合もあり、このビットフォールに陥るリスクは常にあります。和気先生はこの原因不明な疼痛のスペシャリストです。リスク回避のため、このセッションは聞き逃せませんよ。

「咬合違和感症候群」について

玉置 勝司

原因の特定が難しい患者への対応法など臨床で苦慮している先生に朗報です。玉置先生は神奈川歯科大学の補綴科の教授でありながら噛み合わせリエゾン科を受け持つ、まさに噛み合わせに関する異常感や違和感のプロです。先生のご経験などから参考になることが多数あると思います。この講演を聴けば、今夜からぐっすり眠れるようになりますよ。

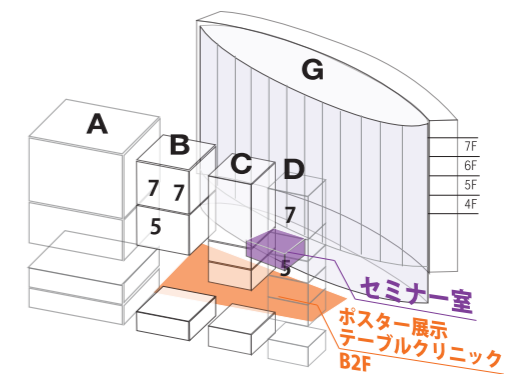
セミナー室2 有料ハンズオン②
スケーリング

※事前参加登録制

基礎から見直そう！インスツルメンテーション

鍵和田 優佳里

歯周治療においてエキスパートである小林和一先生のもとで勤務されている歯科衛生士さんです。全国各地で講演されている鍵和田先生に今回は、インスツルメンテーションについて講演していただきます。どんなに素晴らしい器具を使っても、扱いや管理が上手くできないと治療は上手くいきません。経験が浅く上手く器具を使いこなせてないと思った方、また基礎をもう一度見直そうと思った方には必見です。



テーブル7

オーストリアナソロジー的スプリントの製作と調整法

普光江 洋

伝説のナソロジストP. K トーマス先生やスチュアート先生から咬合を学んだ普光江先生は、日本顎咬合学会の創世記から活躍されている咬合治療のスペシャリストです。オーストリアナソロジーを極めた先生によるスプリント治療の極意を知る大変良い機会です。明日からの臨床に大きなヒントをもたらしてくれることでしょう。

テーブル8

安全で確実性の高い歯内療法への道

内山 秀樹

歯内療法の勘所をこれほど分かりやすく講演いただける先生はなかなかいらっしゃらないでしょう。感性を大切に、歯内療法において器具を使いこなす最も重要な部分を解説いただけるでしょう。明日からの臨床に直結したテーブルクリニックになることは確実です！

テーブル9

私のマイクロスコープ活用方法
～ライカ M320 のアドバンテージ～

田中 裕子

マイクロスコープをCAD/CAM, CTと並ぶ三種の神器と仰る田中先生。精密かつ、正確な治療はもちろんのこと、高度な診断力が得られることは、患者、術者にとって一番の恩恵です。テーブルクリニックにふさわしい内容です！

株式会社モリタ

テーブル10

再治療時代！個々の支台歯に即した前歯部審美修復の提案

大谷 一紀

身長190cm、大学時代アメフトで鍛え上げた身体は未だに健在！バリバリの体育会系かと思いきや、代々続く歯科医師家系に生まれ、先生はなんと4代目という、歯科医師になるべくしてなったともいえる大谷先生！歯科医療の歴史を受け継ぐ先生が解説する再治療時代の審美修復。奥深い話が聞けそうです！

株式会社トクヤマデンタル

テーブルクリニック B2F 展示ホール

セッション1 6月14日(土) 13:30-14:40

テーブル1

歯内療法を成功へ導くために大切なこと

石田 博也

プライベートではマラソンやスキー、フットサルを趣味とするスポーツマンの石田先生は、歯科の分野においても勤勉家で知られており、フットワークも軽く様々な場で研鑽を積まれています。今回は歯内療法にスポットを当て、成功へのキーポイントをお話いただく予定です。

テーブル2

始めよう MTM ——Up right——

中山 直樹

渡辺隆史先生のもと修行を積まれた若き新鋭中山直樹先生、ついにテーブルクリニックで初講演します。学生時代、アメフトに燃やしたパワーと情熱を現在、歯科臨床に全力で燃やしています。グローブのような太い指から、繰り広げられる繊細なワイヤーベンディングも注目ですが、全顎矯正やセファロ診断を深く理解している中山先生が、MTMについて情熱をかけた講演は必見です。「矯正を臨床に取り入れたいと思ってるあなた！」ここは絶対に外してはいけません！

テーブル3

ペリオドンタルインスツルメンテーションのエッセンス

薄井 由枝

長年アメリカで素晴らしい経験と実績をお持ちの薄井先生。歯周ケアをうまく管理するためには、効果的なインスツルメンテーションが必要不可欠です。今回は、薄井先生のインスツルメンテーションの極意を伝授していただき、明日からの診療に役に立つこと間違いなしです。みなさん注目ですよ！！

テーブル4

歯科医師と何を相談して修復材料を決めますか？

～メタル・セラミック・ジルコニアの適応症を考える～

桜井 保幸

補綴修復材料の選択や適応症は歯科医師にとって悩ましい問題。経験豊富なトップテクニシャンのノウハウを知れば明日からテクニシャンとのコミュニケーションが変わります。桜井先生が製作する補綴物は芸術品です。

テーブル5

今、開業医がすべきこと“5年後10年後を見据えて”

中川 豪晴

時代を先読みした歯科治療法の知識・技術の習得、医院経営への取り組み、それらを通してのスタッフの意識改革など、常に我々の一歩も二歩も先をいく中川先生！その先生が仰る“5年後10年後”は、我々の感覚からすると、“10年後20年後”にも通用する話かもしれません！

テーブル6

インプラント審美修復を成功させるために

鈴木 玲爾

UCLAで研鑽を積み、今後の歯科界をリードして行くであろう新進気鋭のインプラントジストである鈴木先生。実は自他とも認めるサーファーで、UCLAでもサーフィン三昧？ そんな波乗り上手にインプラントの新しい波の乗り方を教わりませんか？

セッション2 6月14日(土) 15:10-16:20

テーブル1

マージンが露出しにくい支台歯形成と印象採得

大村 祐進

皆さんはテーブルマジックをご覧になったことがあるでしょうか？大村先生のテーブルクリニック、同じ様な驚きを感じます。でも、テーブルマジックはイリュージョンです！先生の代名詞ともいえる“生体に調和した審美補綴”には、科学的根拠に基づいた、“タネも仕掛け”もご紹介します。

テーブル2

クラウン・ブリッジにおける印象採得のキーポイント

小松智成

山口県下関市で開業の小松先生には基礎から学ぶシリーズの補綴編でクラウン、ブリッジにおける印象採得のキーポイントについて講演していただきます。個人的な事ですが、私(Mr. X)、卒業して17年になりますが聞きたいです。若い先生はもちろん、卒後10年以上経過した先生方、一度基本に戻ってみませんか？

テーブル3

時代と共に進化する歯周治療におけるツールの活用

藤田 令衣

様々なう蝕、歯周病の初期治療においてのアプローチ、流れについて悩んでいる歯科衛生士の方々は数々いると思いますがもう大丈夫です。すべて藤田先生が解決してくれます。歯科衛生士だけでなく歯科医師にとっても参考になる講演になっておりますので皆さん是非ご参加ください。

テーブル4

犬歯誘導咬合の誘導面におけるⅠ級咬合とⅡ級咬合の影響について

榊原 功二

生体に調和した補綴物、誰もが目指す治療です。それがあっての“一口腔単位から一全身単位”です。それらに関わる理論を具現化できるのは、口腔機能という科学を理解した歯科技工士です。これはまさに、榊原先生のことです！若手歯科医師が行くべきテーブルです！

テーブル5

歯科医院経営に役立つ学会、歯科医師会、連盟(政治)とのつきあい方

久保田 智也

日頃の政治・経済担当の久保田先生。見た目と違わぬスマートさで口当たりまるやかに言葉を繰り出しますが、さわやかな笑顔でさらっと出す毒舌にはとっさせられたり、笑ってしまったたり、考えさせられたり、煙に巻かれたりと七変化の様に気持ちを変化させられる今日この頃。講演中、聴講者もそんな七変化に巻き込まれるでしょう。

テーブル6

予防補綴による活力ある長寿社会を目指して

大石 暢彦

日本も超高齢社会を迎え、ますます高齢者に対する治療や口腔ケアは重要な役割を担っています。そこで、歯科医からみた加齢変化を大石先生ご自身の咬合を考慮した目から鱗の落ちるような補綴治療と共に供覧していただきます。きっと明日からの臨床にプラスになります。

セッション 2 6月14日(土) 15:10-16:20

テーブル7
口から始まる健康長寿
 ~要介護者への歯科的アプローチとその key point!~
 岩崎 貢士
 リハビリテーション病院に勤務された経験のある岩崎先生は「口の中に刺激を与えると、眠っていた脳機能にスイッチが入り、生きる意欲を取戻し、元気になった患者を何人も見てきた。医師は口の中をじっくり診て、手で触れることはない。私たち歯科医師が診なければ誰がやるのか」と熱く語ります。現在、埼玉県熊谷市で開業され、開業臨床医のレベルでもリハビリに取り組み始めることを示し、実践していきたいと仰る先生の講演は、やさしく情熱のこもったものとなるでしょう。要チェックです。

テーブル8
訪問歯科診療における義歯製作の勤どころ
 湯田 亜希子
 信じられないくらい多くの訪問診療において、義歯づくりを行ってこられた湯田先生！常識の枠を超えた訪問診療での義歯づくりの本質を聴ける絶好の機会です。これからの超高齢社会での訪問診療に際して、必ずや大きな助けとなることでしょう。情熱的な湯田先生の臨床を是非、垣間見たいものです。

共同演者：小林 貞則

テーブル9
Systema SP-T シリーズの応用法
 市村 光
 歯周病専門医として、その病態の研究に携わる傍ら、臨床でもそのエビデンスを生かした治療を行なっている市村先生。なかなかお目にかかることができないその臨床に触れ明日からの医院の糧と致しましょう！
 株式会社モリタ

テーブル10
Dask system を用いた低リスクの上顎洞底挙上術

多保 学
 日本歯科大学を卒業後、米国ロマリダ大学インプラント学科に留学され研鑽を積まれた多保先生、現在は同大学 Assistant Professor、アメリカインプラント学会、専門医日本歯周病学会、専門医日本口腔外科学会 専修医顎咬合学会 認定医最先端医療推進プロジェクトメンバーなどで活躍されている凄腕先生です！ご自身の飛躍のために先生のパワーをいただきます！
 コアフロント株式会社

セッション 3 6月15日(日) 9:30-10:40

テーブル1
歯周外科前処置としての歯周基本治療
 =歯周外科するとき、しないとき=
 内田 剛也
 歯周治療のスペシャリストとして長年にわたり後進の指導に当たられ、講演や執筆活動でもご活躍されている内田先生が、そのハイレベルな臨床経験から導きだした歯周外科治療の判断基準を分かりやすく伝授してくれます。明日からの臨床に役立つ内容です。おすすめです。

テーブル2
小児期の歯の外傷と歯内療法
 橋本 敏昭
 北九州市で小児歯科専門で開業されている橋本先生には、小児期の歯の外傷と歯内療法についてレクチャーしていただきます。臨床医であれば必ず遭遇する小児の外傷、そして歯内療法です。特に外傷は急患で来院します。冷静に対処するには、準備が必要です。備えあれば憂いなし。開業医、また開業を目指す方は是非聴いて下さい。

テーブル3
パーソナライズドケアにおけるケア剤の「適剤適処」
 加藤 正治
 赤穂四十七士で有名な高輪・泉岳寺にほど近い東京都港区高輪で、「治療も予防歯科の一環」を掲げ開業する高輪歯科 DCC 院長加藤先生。外科的処置中心の歯科治療から、内科的分野も意識し「細菌」という概念を取り入れ新しい発想の予防歯科に取り組んでいます。パーソナライズドケアにおけるケア剤の「適剤適処」要チェックです。

テーブル4
下顎の歯列弓形態が上顎の咬頭展開角に及ぼす影響
 前川 泰一
 世界基準の歯科技工士。模型を基準に技工操作をする時間が大半ですが、患者とのコミュニケーションを大切に、最高の顎口腔機能、審美機能の回復を目指している前川先生。常に最新の知識、技術を導入できる体制づくりをしているからこそ世界基準の維持が成り立っています。その姿勢を学びましょう！

テーブル6
レジン充填を再考する
 安光 崇洋
 日常臨床でレジン充填をしない日はない高頻度治療。しかも MI 治療には非常に有用な材料。さらに効果的にレジン充填処置を行うために歯質・マテリアル・修復技法・研磨などさまざまな角度からもう一度見直してみよう。

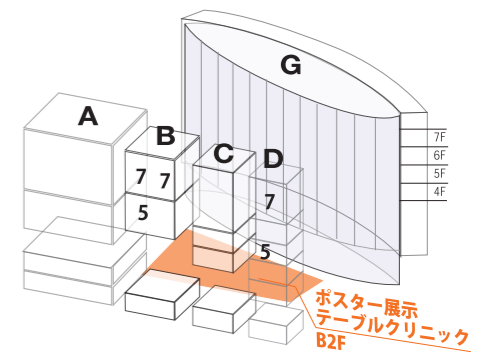
テーブル7
先天性欠如歯を持つ患者への連携治療を考える
 川畑 正樹
 咬合を考える時、歯の位置が正しい所に有ることが重要です。そこでインターディシプリナリーという概念が近年では定着しています。しかし他科に丸投げでよいのでしょうか？川畑先生には、矯正と GP の関わりについて講演いただきます。インターディシプリナリートリートメントを行いたい方は聞き逃しません。

テーブル5
明日から即使えるトラブルを減らすワシ流説明方法
 吉永 勉
 大阪生まれで「ワシの会」会長の吉永先生は、歯科での華々しい活躍以外に、オールアメリカンローラーフェスティバルダンシングコンテスト優勝、バイクで日本一周、JAF 国内 A 級ライセンス取得など、多才で知られています。そんな才能豊かな吉永先生の「トラブルを減らすワシ流説明方法」、必見です。

テーブル8
ステンレスファイル vs Ni-Ti ファイル根管形成法の再考
 高橋 慶壮
 Cleaning, Shaping, Packing, 根管治療の基本概念です。さらに根管治療にこそ MI は大切！オリジナルの根管形態を保持し、歯質の削除量が必要最小限の根管形成法が求められます。これを効率よく確実に行うには、ステンレスファイル？ Ni-Ti ファイル？ テーブル8に急ぎましょう！

テーブル9
矯正用アンカースクリューを用いた補綴前矯正の臨床テクニック
 大谷 淳二
 愛媛県松山市で開業の大谷先生には矯正用アンカースクリューを用いた補綴前矯正の臨床テクニックについて講演いただきます。補綴前矯正でも、かつてはアンカーをどうするかなど、難しいケースもありました。しかし現在では、強固な固定源としてのアンカースクリューがあり、うまく使いこなせば患者に大きなメリットとなるでしょう。導入をお考えの先生必見です。
 共同演者：川崎 宏一郎
 株式会社プロシード

テーブル10
Zimmer Dental 社製インプラントの選択と臨床応用
 松井 徳彦
 「歯科医師として一番大事なのは最初の3年です」松井先生が恩師に授けられ、現在の優れた臨床医としての地位を築きかけとなった言葉です。もちろん、後輩に対しても同様に伝え指導・育成する素晴らしい先生です。卒業直後、または、臨床経験が3年未満の先生方は是非受講してください。
 株式会社白鷗



セッション 4 6月15日(日) 11:10-12:20

テーブル1
口腔内写真 なぜ必要な？ どうやって撮るの？
 加藤 泰二
 歯科治療において資料を集めることが重要となる現在、正しい口腔内写真がどのようなものが悩んでいる先生方も多いと思います。しかし大丈夫です加藤先生から口腔内写真の位置決め、写真規格を正確に教えていただけます。若手歯科医師だけでなく経験豊富な歯科医師の先生たちも参考になる講演となっております。

テーブル2
抜歯の勤どころ
 住吉 周平
 福岡歯科大学大学口腔外科出身の住吉先生の基礎から学べるシリーズの抜歯の勤どころです。若手歯科医師なら誰でも悩む抜歯の手法や理論についての押さえておきたいポイントを住吉先生から一から学ぶことができます。また若手歯科医師だけでなく経験豊富な歯科医師の先生方も一緒に学べる講演となっております。

テーブル4
機能的問題点の解決を伴った前歯部審美修復治療の実際
 藤本 光治
 審美治療は、顔貌、口唇、歯周組織、精度の高い咬合関係を与えた結果得られた機能美です。そのエビデンスを理解することは勿論大事ですが、理論を具現化できなければ目的は達成できません！ それを実践できる、スーパーテクニシャン藤本先生です。多様な場で指導者として後輩の育成にも定評があります。

テーブル5
健口長寿のためのコンサルテーションとペインレス治療の重要性
 鵜飼 誠
 “一口腔単位から一全身単位へ”の意識は患者側でも認識されはじめています。健康で長生きをするために、口腔ケアの重要性を知り、歯科医院を全身の健康管理のために利用する方が益々増えるはず！痛くないけど治療が下手では意味がない。全ての治療が高水準にある鵜飼先生に聞くからこそ価値あるテーマです！

テーブル7
低侵襲治療
 ~審美領域でのインプラント以外の選択肢~
 小川 勝久
 天王洲のビルで開業される小川先生。昨年ベストセラーになった『1からはじめるインプラント治療』は幅広く支持されています。そんなインプラント治療、特に審美領域においてエキスパートの先生が、今回は低侵襲の治療をご披露していただきます。どのような症例がでてくるのか本当に楽しみます。インプラント治療をしている先生、していない先生にも必見です。

テーブル8
総義歯の咬合様式は、フルバランスで本当に良いのでしょうか？
 小林 隆
 釣りが趣味の小林先生。得意の料理の腕前を生かし釣った魚をどん欲に身体のエネルギーとします。日本大学歯学部を卒業後も、日本大学大学院歯学研究所補綴学教室、予防歯科・審美歯科・歯周・補綴・インプラントと治療に必要な知識、臨床スキルをキャッチ&キープしてきました。講演の内容、リリースせずに持ち帰りましょう！
 共同演者：塩田 太

テーブル3
Tooth wear
 ~歯科衛生士として酸による歯への影響と対処法を考える~
 久保田 麻弓

日本臨床歯周病学会の認定歯科衛生士の資格も持っている久保田先生の講演です。現代病と言われている Tooth wear に対して歯科衛生士の立場つまり患者管理の点からどのようなアプローチをしていくか明確にご説明していただけます。歯科衛生士だけでなく歯科医師にとっても有意義な講義になりますので是非聴講ください。

テーブル6
私の総義歯臨床（上顎先行法により下顎位の安定を行う）
 須藤 純
 にこやかな笑顔とおっとりとした優しい語り口調で人妻・熟女から絶大な人気を誇る須藤先生は、総義歯治療や咬合学に対する造詣も大変深く、多くの難症例を成功に導いた実績があります。科学的根拠にもとづいた真の癒しの治療をあなたもぜひ体験して見て下さい！女性だけでなく男性も必見ですよ。

テーブル9
結合組織移植を用いた処置でおさえべきこと
 松川 敏久
 マイクロサージェリーのエキスパート、松川先生。とにかくその手技の素晴らしさ、ため息の連続でしょう！聴衆を引きつける関西人特有の語り口！いつの間にか松川ワールドに引き込まれます。肝心の“結合組織移植処置でのおさえどころ”しっかり持ち帰りましょう！
 株式会社茂久田商会

テーブル10 企画中
 デンツプライ三金株式会社

セッション5 6月15日(日) 13:30-14:40

テーブル1
日常臨床に歯周外科を取り入れよう!

村田 雅史
歯周組織に関連する多数の研究・臨床報告などでこの分野に貢献されている村田先生。歯周病治療でのEBMを実践されている凄腕先生の臨床を目の前で体験できる! これぞテーブルクリニックの醍醐味です!

テーブル2
体験しませんか「咬合診断・咬合採得」PartIII

菅野 詩子
「咬合診断・咬合採得」基礎から学ぶシリーズの第3弾。咬合を考える上で、はずせない下顎位。聞くより見るより体験して明日からの臨床に活かしましょう。

テーブル3
チームとして歯科医療に取り組む体制づくり

小原 啓子
歯科衛生士でありながらデンタルタイアップの代表取締役であられる小原啓子先生の講演です。現在歯科医院においてチーム医療はなくてはならないものとなり歯科医師だけで行っていく時代が終わったと言われる今、様々な病院で医院マネジメントをなされておられる小原先生の講演はとても興味深い話になっております。是非一度、皆さん聴講にいらしてください。

テーブル4
満足のいく最終補綴物獲得の為に技工士として今何を考える

南澤 英樹
南澤先生のラボ、「スカラ」(SCALA)は、イタリア語で「階段」を意味します。ラボの技術向上と、ラボから歯科医院へ、歯科医院から患者さんへ、笑顔の架け橋を創りたいという願いを込めて名づけたそうです。海外の技術でも、常に日本人の歯を意識し最良の適合性を追求する先生の姿勢、歯科技工の哲学を感じます!

テーブル5
歯科技工業務運営上の自己管理とスタッフ育成

三品 富康
浅井歯科技研の代表取締役を務める先生は、その経験から歯科技工士向けに歯科技工業務運営上の自己管理とスタッフ育成という演題で講演いたします。歯科技工士向けの講演は今まで主に技工テクニック関連が多かったのですが、日頭では歯科技工士開業学という新たな切り口で、これからの歯科技工士の未来を照らしていきます。

テーブル6
インプラント周囲炎を予防する——補綴主導型インプラントを埋入計画から考える——

小川 洋一
歯科界の「ジョージ・クルーニー」の呼び声高い小川洋一先生は、一流の臨床家としても大変著名であり、国内だけでなく海外の主要学会での講演や、歯科雑誌への投稿など、精力的に活動を行っています。熱意溢れるその講義と素晴らしいパフォーマンスにあなたもぜひ魅了されて下さい! イッツ・ショー・タイム!!

テーブル7
挺出歯の圧下
～インプラント治療前に必要な部分矯正～

米澤 大地
歯科医を「天職」と自負する米澤先生。本多先生を師と仰ぐ若手の有望な歯科医師です。早くから、一般臨床に矯正治療を取り入れ、一口腔単位のハイレベルの治療を実践されています。今回はその矯正治療が咬合の安定にいかにか切かを解説いただきます。

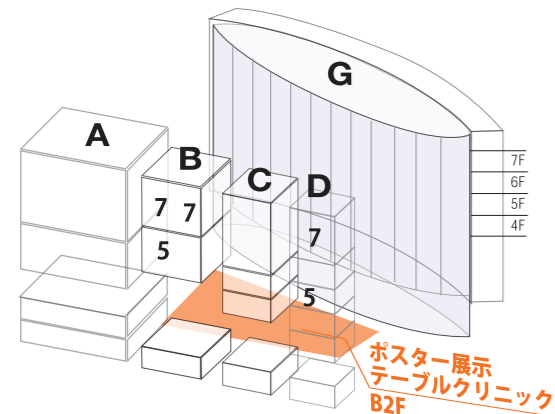
テーブル8
口腔機能訓練器具を用いた効果について

飯塚 能成
IPSG 包括歯科医療研究会会長、飯塚先生です。口腔と体の健康を考えた包括歯科治療を実践されています。特に高齢者や要介護高齢者に対し口腔機能訓練器具(ラビリントレーナー)を使用しての口腔機能改善の効果は「すごい」の一言! 実際に目の前で見られる絶好のチャンスです!

テーブル9
咬合の出発点 中心位

小嶋 壽
日本のナソロジーの父である村岡博先生とともに本学会を長年にわたって支えてきた重鎮の一人である小嶋先生が、顎咬合学の極意ともいえる「中心位」について、分かりやすく、そして丁寧に、あなたの心に熱く語りかけます。「中心位」を正しく知ること、今後の臨床を大きく左右する、と言っても過言ではないでしょう。必見です! カボデンタルシステムズジャパン株式会社

テーブル10 企画中
デンツプライ三金株式会社



セッション6 6月15日(日) 15:10-16:20

テーブル1
修復処置における形成のツボ!
～基本からオールセラミックス・CAD/CAMまで～

桃園 貴功
適合性が良く壊れない補綴物のためには最終補綴物の材料に応じた支台歯形態を考慮するのが絶対条件。今回はさまざまな材料に対する形成のツボを解説していただきます。つぼにはどんなお宝がまつまっているのか楽しみです。

テーブル2
顎関節症患者における初期治療の重要性

西川 洋二
“日本顎咬合学会会員”である我々にとって、本来得意分野としなければならない顎関節症! しかし、顎関節症はむずかしい! と思われる方は多いのでは? 長年あらゆる治療を受けても改善されなかった難症例の改善実績を多数お持ちの西川先生! 具体的治療法を伝授していただきます!

テーブル3
ハイジニストワークのSTEP UP!!
マイクロスコープをのぞいてみませんか?

佐原 由起
最近の歯科界においてなくてはならない存在となったマイクロスコープ、そんなマイクロスコープの講義を歯科衛生士からの視点で説明していただきます。マイクロスコープは知っているけどどのような症例で必要になるかいまいち分からない皆さん、もう心配いりません。一から佐原先生が全て講義してくれます。是非皆さんご聴講下さい。

テーブル4
多数歯症例を正確にミスなく仕上げするための補綴ステップとは

上原 芳樹
キーワードは「それぞれのステップでの確認」なにをどのように確認しエラーをなくしていくのか興味のあるテーマですアポイント回数を少なくいかに正確に多数歯補綴を仕上げるか... 必聴です。

テーブル5
保険総義歯の製法(箸の文化に適應した前歯で噛み切れる)

松岡 金次
松岡先生には、保険総義歯の製法について講演していただきます。副題として『箸の文化に適應した前歯で噛み切れる』とあります。この副題、すごいと思ってしまうのは自分だけでしょうか? 保険で? 前歯で噛み切れる? こんな義歯が作れたら、どれだけ地域のお年寄りに貢献できるでしょうか。咬むことで寝たきりのお年寄りを自立歩行で海外旅行まで導いてしまう、保険義歯のすごさを是非体感してください。席の確保はお早めに。

テーブル6
吸着マニア! 総義歯・難症例の克服
舌側の封鎖を高める印象法

齋藤 善広
吸着義歯の達人でもある齋藤先生は理論的かつ独創的な人物! また、非凡なアイデアマンでもあり、まるで発明家のようにあります。齋藤先生のお話はいつも『なるほどそうなんだ、本当にわかりやすい!』と納得させられます。今回は総義歯の最高峰の理論とテクニックがきくと聞けることでしょう!

テーブル7
オーストリア咬合学を用いた咀嚼器官における機能治療

田嶋 健
オーストリア咬合学の権威であるスラビチェック教授から学ばれた顎の動き、咬み合わせからコンピューターで正確に解析し患者一人一人にあった咬み合わせの位置に戻すというとんでもないテクニックを講義していただきます。患者の咬み合わせで気になって悩んでいるという先生方は必見です。是非みなさんご聴講ください。

テーブル8
マイクロスコープの臨床応用

勝部 義明
昔は、極真空手チャンピオンの勝部義明先生、必殺技を回し蹴りから、マイクロスコープに変えて講演していただきます。空手で培った、気合いと情熱は、歯科医師になっても継続中で、臨床に裏打ちされた理論、ユーモアあふれる講演は見逃すわけにはいきません。肉眼では見ることができないものをマイクロスコープで覗いてみる。今回、勝部先生の講演で、今まで気が付かなかった新たな世界が見えることでしょう! キレのある回し蹴り講演、毎年大人気です。若き新鋭、勝部義明先生に期待せずにはいられません。大大注目、要チェックです。

テーブル9
修復治療を機能的・審美的に成功に導くためのヒント

松尾 幸一
インターディシiplinaryナリーをされる先生方がおられますが、松尾先生は、一般歯科から矯正、インプラント、審美、予防、歯周病治療まで、高レベルで実践されるいわゆるスーパーデンティストです。多数お持ちの引き出しの中身、教えていただきます!

テーブル10 企画中
デンツプライ三金株式会社

セッション1

6月14日(土) 13:30-14:40

テーブル1

トータル・トリートメント・プランニング「より効率的な治療計画と治療の手順」

上田 秀朗

アロハシャツがトレードマークだった上田先生。副理事長になられてからは、寝るときでもパジャマにネクタイを締めて寝るジェントルマンに変身！ご自分の立場を理解しての責任ある行動、頭の下がる思いです。そして、どんな難症例であっても、短期間で確実に結果を出して来た実績をもとに解説いただく今回のテーマ。若手歯科医師を元気にさせたい！そんな願いが込められています！

共同演者：中島 稔博

テーブル2

「CAD/CAM、私達はそこに何を見るか？」

木村 健二

約10年前、木村先生がドイツ・ケルンの展示会で観たCAD/CAMの展示は20社、2年後には80社、次の年には100社を超える勢いになっていたそうです。石橋を叩いても渡らないという程慎重派の木村先生がいち早く導入したCAD/CAM。今後どのような方向へ向かうのか？日本歯科技工士会認定講師である木村先生に伺います。

共同演者：加藤 糸保、坂倉 美菜子

テーブル3

審美領域におけるインプラント治療の再考

寺西 邦彦

寺西邦彦先生といえば、ミスター欠損補綴！あらゆる手法で歯列・咬合を回復する凄腕の先生です。特に補綴主導のインプラント治療に関しては古くから携わり、改革して来た先生でもあります。インプラント治療における審美性の維持についても、机上の理論ではなく、極めて実践的かつ有効なお話が必ずや聴けるでしょう！

セッション2

6月14日(土) 15:10-16:20

テーブル1

歯周治療を成功へと導くための患者の心に響く接遇を考える

若林 健史

シミュクトの若林先生です！数々のCMでもお馴染みの先生でもあります。また、まさに俳優と言っても過言ではなく、素晴らしい人間性をお持ちの先生で楽しいお話が多いです。オールマイティーな歯科医師の若林先生が、特に重要と言っておられる歯周病のお話はきっと皆さんの胸を打つことでしょう！

テーブル2

審美領域のインプラントを考える

林 揚春

誰もがご存知の林先生。そのテーブルクリニックはいつも満員御礼。今回は審美領域のインプラントについて成功の秘訣を伝授して下さい。さあ皆さん林節を聴きに急ぎましょう。

テーブル3

咬合採得“合うバイト、合わないバイト”

山影 俊一

スティックな仕事人の山影先生は治療の考え方、つめ方が凄い！最近、山影先生執筆の臨床の本も出ており、目からうろこ状態です。皆さん、是非ご覧あれ！今回は咬合採得ということで、日常臨床にすぐに直結し役立つに違いありません。本質に迫るお話に超ご期待！

共同演者：成田 隆夫

セッション3

6月15日(日) 9:30-10:40

テーブル1

守ろう！第一大臼歯

小林 明子

それぞれの歯が独自の形態、機能、役割を有しているなかで、あえて一番大切な歯は？と問われれば、“第一大臼歯”と答える方が多いのでは？生涯にわたり、咬合の中核を担うこの歯を歯科衛生士として管理し、歯科技工士として機能回復させてきた小林先生。教えてください、どう守ればいいのか！

テーブル2

咬合再構成について臨床的に考察する

加々美 恵一

今年の干支午年生まれです。満48歳と言ってもおかしくはない若さを保っておられる加々美先生。実は5回目の年男、還暦です。これからの人生の目標は、喜寿、米寿、卒寿、白寿まで咬合を探索する、「それまでは、死ねん！」そう言い切る咬合のスペシャリストです。

共同演者：大野 真美

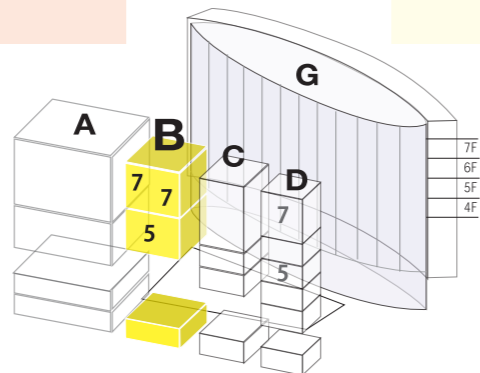
テーブル3

長期的に維持安定した補綴的顎位を求めて

平井 順

歯内療法の家として知られている平井先生は仰っています。「優れたエンドドンティストとは、歯髄保存ができる人！」またやむを得ず根治をする場合でも、「補綴を見据えた根治が重要！」と。その場その場の治療ではなく、先の先を見据えた臨床の大切さを学び、実践しましょう！

共同演者：脇本 貢



セッション4

6月15日(日) 11:10-12:20

テーブル1

成人歯周病を診る
——初期治療編——

池田 育代

初期治療、簡単なようですが非常に難しい治療です。ここをきちんとおさえることが、歯周治療が成功するといっても過言ではありません。今回、大阪 SJCD の講師をされている池田育代先生に、成人歯周病における初期治療について要点やおさえどころをわかりやすく講演していただきます。

テーブル2

PFMの誕生により進化した「新咬合理論 FDO」について

菅 義嗣

PMFの誕生に深く関わられた、皆様ご存知世界の桑田正博先生。その右腕として活躍中の菅先生。FDO理論(Functionally Discluded Occlusion)を解説いただきます。日本顎咬合学会が掲げる三位一体の一翼を担っていただくに相応しい先生です。

テーブル3

口は命の入り口 “噛む”から始める健康づくり

夏見 良宏

“咀嚼” 広辞苑によれば、“かみくだくこと。かみくだいて味わうこと。” たったこれだけの解説です。しかし、噛むことの効果は、唾液の分泌や栄養素の摂取促進、肥満や糖尿病の予防、免疫力の向上、全身の運動機能や脳血流の促進など、非常に多くの働きを持っているのです。動物にとって、食べることは生きることそのもの。その意味で、口は命の入口であると言えるでしょう。“口から食べることの重要性” 国民に発信しましょう！

共同演者：増田 純一、河原 英雄

セッション5

6月15日(日) 13:30-14:40

テーブル1

成人歯周病を診る
——メンテナンス編——

鈴木 朋湖

フリーランスとして活躍中の鈴木先生は、今回、成人歯周病を診ると題して主にメンテナンス編を講演していただきます。成人のメンテナンスを長期にわたって成功させるためには、その患者の口腔内はもとよりライフスタイルにまで寄り添わなくてはなりません。歯科衛生士の皆さん、鈴木先生に寄り添って臨床のヒントを聞き出しましょう。

テーブル2

ティッシュコンディショナーとシリコン裏装材を応用した私の下顎総義歯製作法

村岡 秀明

今年も来ました。2014年“義歯宇宙”の旅(デンチャースペース)村岡秀明先生です。この義歯の形を追求する旅はまだ続きます。「能書きじゃ入れ歯は作れない！」を訴える村岡先生ご自身が実践しているティッシュコンディショナーとシリコン裏装材を応用した下顎総義歯製作法について伝授していただけます。

テーブル3

生体に調和した咬合の再構成
——ツイン・ステージ法の応用——

田村 勝美

田村先生には生体に調和した咬合の再構成としてツインステージ法の応用について講演していただきます。日本を代表する歯科技工士の先生の講演です。歯科技工士の皆さん。歯科技工は、生体に調和してこそです。この講演を聴いて明日からの仕事にフィードバックしましょう。

セッション6

6月15日(日) 15:10-16:20

テーブル1

義歯と歯が共存する環境でのメンテナンス

柿沼 八重子

日本顎咬合学会副理事長、日本臨床歯周療法集談会(JCPG)副会長と兼任するかたわら、埼玉県川口市にて開業されている亀田行雄先生のもと、チーム医療を20年ともに実践してきた、歯科衛生士 柿沼八重子先生が義歯と歯が共存する環境でのメンテナンスについて講演していただきます。

共同演者：亀田 行雄

テーブル2

まる覚え！咬合採得の臨床
有歯顎から無歯顎まで

松島 正和

少年の頃、プラモデルやジオラマ作りが大好きだった松島先生。動物も大好きで、一時は獣医を目指した頃もあったとか。しかし、人の役に立つ仕事をしたいとの思いが、歯科医師への道を選ぶきっかけになりました。日々の臨床もその頃の志にブレはなく、むしろ強くなっているようにも感じます。そんな先生から、人の役に立つ臨床を伝授していただきましょう！

共同演者：天野 晃

テーブル3

動機付けから術後メンテナンスまでを考えた補綴修復治療

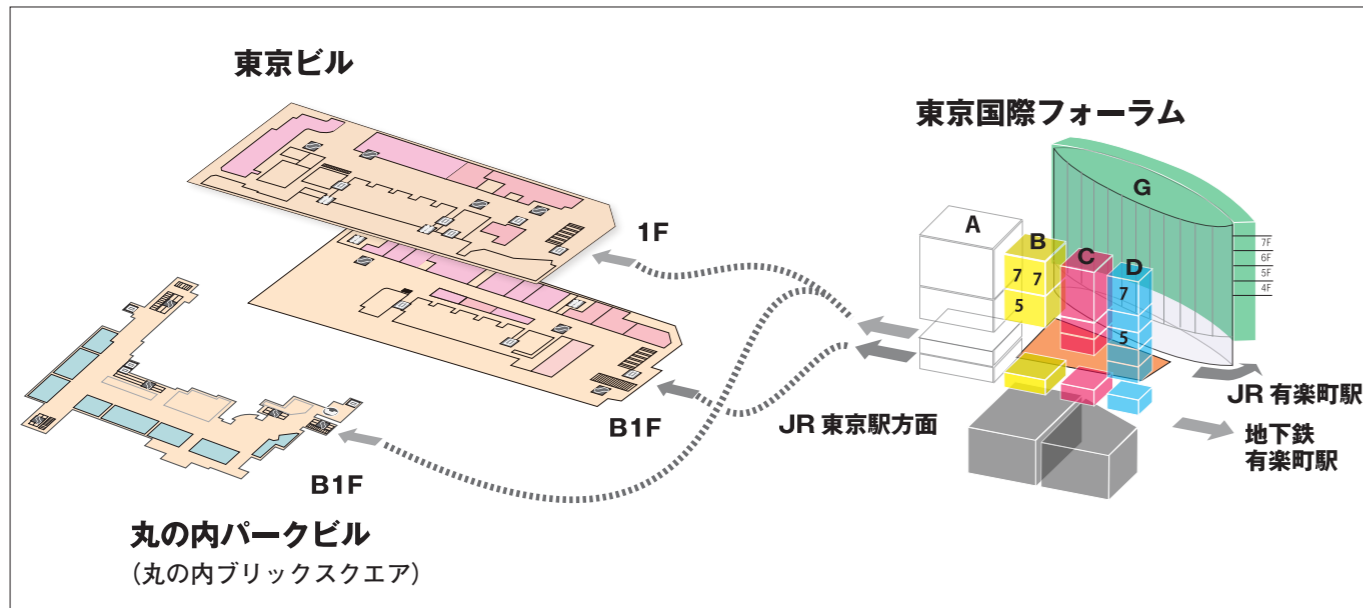
《歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士によるチームアプローチの重要性》

南 清和

東京国際フォーラム喫煙コーナーで、もうそのお姿を見かけることはないでしょう！2014の幕開けとともに、禁煙に取り組まれた南先生。「医療に携わるもの、喫煙など言語道断！」と豪語する意気込みそのままの今回のテーブルクリニック。聴講予定の方で、喫煙者は、当日までには是非禁煙を成功させご参加ください。

共同演者：久保田 麻弓、藤本 光治

大好評につき、本年も更に充実したサービスをご用意いただきました。是非お立ち寄りください。



東京ビルトキアと丸の内ブリックスクエアの一部レストランで、
本年も学会参加の方限定のお得な特典をご用意しております。
ランチ、ディナー共にご利用頂けますので、是非お立ち寄りください。

サービスご提供店舗、内容につきましては、
後日、学会ホームページにてお知らせいたします。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

サービス期間 : 2014年 6月14日(土) ~ 15日(日)
第32回日本顎咬合学会学術大会・総会 開催期間中

※ 一般のお客様との違いがわかるように、事前にネームカードをご呈示ください。

歯科技工士、歯科衛生士認定資格取得をめざされている皆様へ

2012年度より日本顎咬合学会では国民の皆様の口腔を守るために、知識・手技・マナーの研鑽に努める制度を立ち上げました！ 歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士の三位一体でワンランク上の歯科医療従事者をめざしましょう。

歯科技工士の皆様

(条件)
・日本顎咬合学会会員であること
・臨床歴4年以上
※2010年4月1日時点で歯科技工士資格を取得していること。

歯科衛生士の皆様

(条件)
・日本顎咬合学会会員であること
・臨床歴2年以上
※2012年4月1日時点で歯科衛生士資格を取得していること。

資格取得までの流れ

【ステップ1】

第32回学術大会に参加し、学術大会プログラム「認定研修Ⅰ」を受講
認定研修Ⅰ 「生涯にわたる歯周病を基礎と臨床から考える」
講師：伊藤公一先生・阿部伸一先生 座長：上濱正先生

【ステップ2】

認定歯科技工士 事前講義・検定試験
2015年4月に東京で実施予定

※認定研修Ⅰを受講された歯科技工士の皆様には
9月頃にご案内を発送する予定です。

【ステップ2】

歯科衛生士 認定研修Ⅱ・Ⅲ・認定試験
2014年9月～2015年2月各支部にて実施
(詳細は下記参照)

※認定研修Ⅰを受講された歯科衛生士の皆様には
6月中にご案内を発送いたします。

歯科衛生士 認定研修Ⅱ・Ⅲ、認定試験の日程

年	日程	開催地
2014年	9月15日(月・祝)	東京
	10月13日(月・祝)	仙台
	10月19日(日)	札幌
	11月3日(月・祝)	名古屋
2015年	1月25日(日)	大阪
	2月8日(日)	福岡

【合格発表】 第33回日本顎咬合学会学術大会 (2015年6月27、28日)

第15回 咬合フォーラムのご案内

日程：2014年9月28日(日)
テーマ：「新・顎咬合学～近未来へのパラダイム・シフト～」
会場：グランキューブ大阪(大阪市)
演者：阿部伸一先生・荒谷昌利先生・今井一彰先生
座長：南 清和先生

2014年度 海外研修のご案内

“American Academy of Esthetic Dentistry 39th Annual Meeting”
第39回アメリカ審美歯科協会年次総会
HP：www.estheticacademy.org

日程：2014年8月5日(火)～8日(金)
年次総会参加費：\$1,395 ※交通費・宿泊費など別途
会場：Santa Barbara, California
申込方法：学術大会事務局までお問合せください。
※旅程の手配は各自で行なっていただきます。



● 会員カード発行のお知らせ

平成 24 年度より会員カードを発行しております。学術大会・咬合フォーラム・研修会などの受付手続きや単位申請（申請方法は会によって異なります）に必要となりますので開催時には必ずご持参頂きますようお願いいたします。

※第 32 回学術大会の単位申請は B1F ロビーギャラリー学会受付にてご申請ください。

学会ホームページの「会員専用ページ」をご利用ください

- ・勤務先・自宅・お届け先などで登録内容の確認・変更
 - ・認定資格・単位取得状況の確認
 - ・年会費のお支払（カード決済）、お支払状況の確認
- ※コンビニ・郵便振替をご希望の方は事務局までご連絡ください

- ・平成 26 年度の年会費の納入がまだお済みでない方は、至急お振込みをお願いいたします。
- ・過去に未納分がございますと、認定試験、認定医の更新、学術大会への参加ができませんのでご注意ください。
- ・学会からの発送物は郵便及びメール便を利用しています。メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合がございます。勤務先の変更、転居等登録内容に変更が生じた場合は、至急変更のお手続きをお願いいたします。
- ・「会員専用ページ」のご利用には、会員 ID（会員 No）とパスワードが必要です。ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。

● 日本歯科医師会生涯研修登録について

6 月 14 日・15 日開催の第 32 回学術大会参加の際には、日本歯科医師会にご所属の先生は日本歯科医師会 IC カードを忘れずにお持ちください。学会受付にてご登録を行っていただきます。なお、学術大会は特別研修の登録となります。後日のご自身による登録はできませんのでご注意ください。

平成 26 年度 各支部の事業予定（自 平成 26 年 4 月 1 日～至 平成 27 年 3 月 31 日）

支部名	区分	開催日	会場	内容、講師等
北海道	認定医教育研修会	平成 26 年 10 月 19 日（日）	北海道歯科医師会館	テーマ：「口腔から高齢者の健康を考える（仮題）」 弘中 祥司 先生（昭和大学歯学部口腔衛生学教授） 林 揚春 先生（東京都開業）
	支部学術大会	平成 26 年 10 月 18 日（土）19 日（日）	北海道歯科医師会館	未 定
東北	認定医教育研修会	平成 26 年 10 月 13 日（月・祝）	宮城県歯科医師会館	テーマ：「口腔から高齢者の健康を考える（仮題）」 弘中 祥司 先生（昭和大学歯学部口腔衛生学教授） 林 揚春 先生（東京都開業）
	支部学術大会	平成 26 年 11 月 30 日（日）	宮城県歯科医師会館	未 定
関東 甲信越	認定医教育研修会	平成 26 年 9 月 15 日（月・祝）	JA 共済ビル カンファレンスホール	テーマ：「口腔から高齢者の健康を考える（仮題）」 弘中 祥司 先生（昭和大学歯学部口腔衛生学教授） 林 揚春 先生（東京都開業）
	支部学術大会	平成 26 年 9 月 14 日（日）	全国町村会館ホール	未 定
中部	認定医教育研修会	平成 26 年 11 月 3 日（月・祝）	ジーシー名古屋営業所	テーマ：「口腔から高齢者の健康を考える（仮題）」 弘中 祥司 先生（昭和大学歯学部口腔衛生学教授） 林 揚春 先生（東京都開業）
	北陸地区主催 認定医教育研修会	未定	金沢市（予定）	未 定
	支部学術大会	平成 26 年 12 月 7 日（日）	名古屋国際会議場	未 定
近畿 中国 四国	認定医教育研修会	平成 27 年 1 月 25 日（日）	千里 ライフサイエンスセンター	テーマ：「口腔から高齢者の健康を考える（仮題）」 弘中 祥司 先生（昭和大学歯学部口腔衛生学教授） 林 揚春 先生（東京都開業）
	支部学術大会	平成 27 年 1 月 24 日（土）25 日（日）	千里 ライフサイエンスセンター	未 定
九州 沖縄	認定医教育研修会	平成 27 年 2 月 8 日（日）	福岡ビル 7 階会議室	テーマ：「口腔から高齢者の健康を考える（仮題）」 弘中 祥司 先生（昭和大学歯学部口腔衛生学教授） 林 揚春 先生（東京都開業）
	沖縄県主催 認定医教育研修会	未定	沖縄県	未 定
	支部学術大会	平成 27 年 2 月 7 日（土）8 日（日）	福岡ビル 7 階会議室	未 定